

バイオ戦略※の構成について

※戦略の名称は今後検討

構成（素案）	記載内容
1 はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 世界と国内の情勢、世界の中での日本の立ち位置に触れつつ、本戦略策定の背景、位置づけを記載
2 本戦略のビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 本戦略策定の背景、位置づけに触れつつ、我が国がバイオテクノロジーによるイノベーションを通じて実現を目指す経済社会像を記載 ①農林水産業の革新、②革新的な新素材・機能品による成長社会、 ③炭素循環型社会の実現、④健康・未病社会の実現
3 ビジョンの実現に向けて重点的に取り組むべき研究開発の課題	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンの実現に向け、国際的なベンチマーク、日本の強みに触れつつ、今後、注力すべき研究開発の取組を記載 各課題について、ビジョン（目標）達成の鍵となる技術開発の内容を明らかにする
4 ビジョンの実現に向けた研究開発を促進するための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> データベースや生物資源（バイオ試料）等の共通基盤、人材、オープンイノベーション、バイオベンチャー等について、ビジョン（目標）達成のために、産学官で取り組むべき課題を記載
5 研究開発の成果の社会実装を促進するために検討が必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 産業界からの投資を促進する観点も踏まえ、ビジョン（目標）達成のために、関係府省や産業界に検討を求める課題を記載
6 本戦略の目標	<ul style="list-style-type: none"> 国際的なベンチマーク、日本の強みを踏まえ、上記3～5のうち主要な取組についてアウトプット目標（今すぐ対応すべきものと、3-5年程度先を想定したもの）、戦略全体及び主要課題についてアウトカム目標（2030年を想定）を記載 目標達成の道筋も明らかにする
7 本戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体となった戦略の推進、他の国家戦略との連携、本戦略のフォローアップの取組等を記載